

# Press release

報道関係各位

**SEIKO  
ELECTRIC**

2025 年 7 月 30 日

株式会社正興電機製作所

## 超流体化無機全固体リチウム電池の 24Vモジュール開発と量産化を九州電力と開始

株式会社正興電機製作所(本社:福岡県福岡市博多区、代表取締役社長:添田英俊)は、九州電力(福岡市)と共同で超流体化無機全固体リチウム電池(Superfluidized Inorganic Solid-State Lithium Battery)の24Vモジュール開発と量産化の取り組みを開始します。

このモジュールに使用する電池セルは九州電力と台湾の輝能科技(Prologium company)による戦略的パートナーシップのもと提供されます。

今回開発する超流体化無機全固体リチウム電池の24Vモジュールの開発と量産化については、正興電機製作所が現在建設中のひびきの研究開発センター(北九州学術研究都市内)を活用します。2026年度を目標に双日九州(福岡市)と連携してパイロットプラントを構築し、2027年度の販売を目指します。

本電池モジュールは、2026年1月に米国で開催される国際消費者電子展(CES)への共同出展を予定しており、国内外に向けた技術発信にも注力してまいります。

超流体化無機全固体リチウム電池は産業用機器に必要とされる高い性能と耐久性を備え、幅広い用途での活用が期待される次世代型電池です。

今回の24Vモジュール開発により、大型電動機器や定置用蓄電池などの分野への適用を進め、エネルギー効率・安全性・持続時間の向上、急速充電対応による作業効率の向上、低温環境下でも安定した動作を実現します。

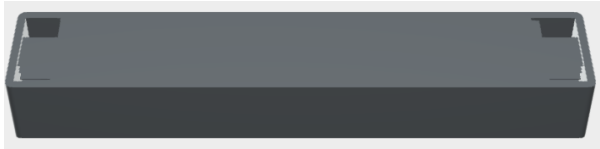
これらを通じて、環境にやさしく、かつ効率的な次世代エネルギーソリューションの提供を目指します。

当社は、事業成長の柱であるDXおよびGXに貢献する製品開発を加速します。オープンイノベーションを推進し、新規事業や革新的な製品の創出を通じて、さらなる事業拡大を目指します。

今後もさまざまなステークホルダーとの協創を通じて社会貢献を続けてまいります。

参考資料

●超流体化無機全固体リチウム電池 24V モジュールについて  
(イメージ図)



(予定スペック)

- ・サイズ L600mm×W110×H90mm      ・モジュール総重量 約 9kg 以下
- ・推定有効容量 2.7kWh (1 セル 333Wh/kg、758Wh/L、1.157kg)
- ・7 直列セル (Nominal Voltage = 24V)

弊社は、北九州学術研究都市（ひびきの）において、産学官連携による最先端の製品および技術開発を推進する研究開発拠点の建設を進めています。完成は 2026 年 9 月の予定です。



|      |                                                                                                                                                                                                                               |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称   | ひびきの研究開発センター                                                                                                                                                                                                                  |
| 所在地  | 北九州学術研究都市 北九州市若松区ひびきの北 2 丁目                                                                                                                                                                                                   |
| 敷地面積 | 9,139 ㎡（2023年取得）                                                                                                                                                                                                              |
| 建築物  | ①研究開発棟（仮称：T サイト／Technology）<br>建築面積：700㎡（延床面積 2,000㎡） 構造：地上3階建 鉄骨造<br>施設用途：産学官連携や地域企業との協業による新事業開発<br>②先端モノづくり棟（仮称：M サイト／Manufacturing/MONODUKURI）<br>建築面積：1,700㎡（延床面積3,100㎡） 構造：地上2階建 鉄骨造<br>施設用途：上記研究開発の際の試作・検証、事業化した際のモノづくり |
| 主要設備 | ・次世代蓄電池（レドックスフロー電池）を活用した電力需給制御システム<br>・AI、ロボティクス技術を活用した設備遠隔監視などのスマート保安システム<br>上記をはじめ、新製品・新技術の開発に向けた実証設備                                                                                                                       |

お問い合わせ | 株式会社正興電機製作所 広報部 | 藤原ゆかり  
携帯電話 080-3965-9020  
yu-fujiwara@seiko-denki.co.jp